

広報

ひ
る
ば

The image features the Japanese greeting 'おはよう' (Ohayou) in a stylized, blocky font. The characters are rendered in a vibrant blue color with a white outline, set against a solid pink background. The font has a modern, geometric feel with rounded edges and varying stroke widths.

8月号目次

- P 2～3 … 平成28年産「ゆめぴりか」生産優良表彰
 - P 4～5 … たいせつなここがポイント
 - P 6～7 … 田んぼアート2017
 - P 8 たいせつHOTニュース
 - P 9 JAグループ通信
 - P10 たいせつのあゆみ
 - お盆営業のご案内
 - 鷹栖給油所からのお知らせ



△ たいせつ

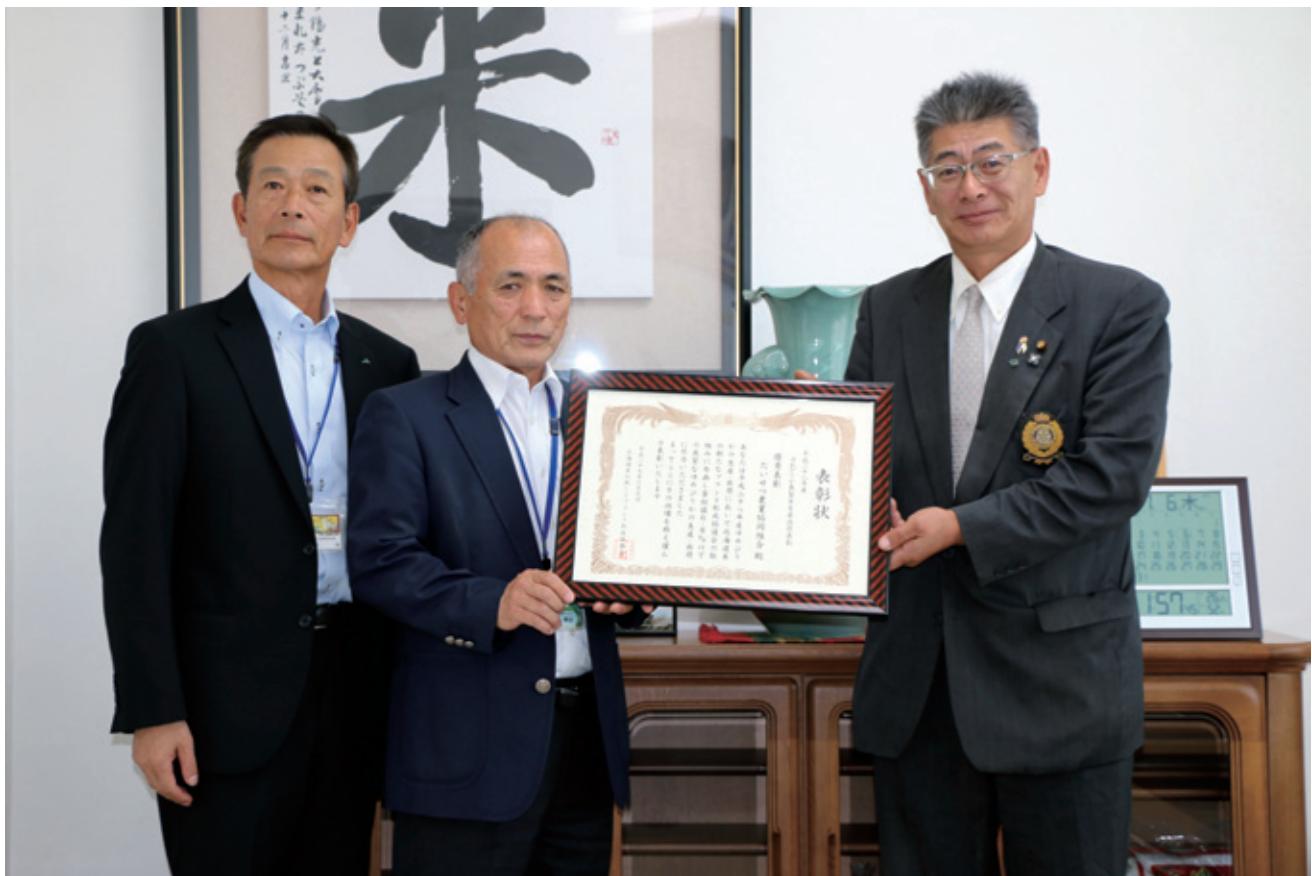


田んぼアート2017 ~夜行性の動物たち~

「ゆめぴりか」生産優良表彰 JAたいせつが優秀表彰を受賞

「北海道の新たなブランド形成協議会」では、「ゆめぴりか」の作付生産者に対し「基準内品生産の意識向上」と「ブランド形成への取組み参画」に敬意を表し、左記の授与基準を満たした生産者・団体へ表彰を実施しており、平成28年産米において当JAが団体の部優秀賞を受賞致しました。

優秀賞は、道内の各産地50団体の中で8団体のみが受賞したものであり、JAたいせつ地域の「ゆめぴりか」生産者全員が一体となって全量施設出荷に取組み、低タンパク米出荷の増産、全量基準品入庫を達成したことにより受賞する事が出来ました。



左より山原茂専務、松原剛志組合長、高見一典稲穂の里協議会会長

また、同様の授与基準で選考される個人表彰については、「ゆめぴりか」生産者205件のうち「優秀表彰」40件、「優良表彰」39件、合計79件の生産者の方が表彰基準を達成し表彰マグネットを受賞されることとなりました。

受賞された生産者の方々は、左記の一覧通りとなっておりますので、受賞者の皆様に敬意を表し組合員皆様にご案内申し上げますと共に「ゆめぴりか」の全量出荷と基準品生産へ一層のご協力をお願い申上げます。

「ゆめぴりか」生産優良表彰が実施されました

◆優秀表彰



金塚 仁司	中谷 芳春	伊藤加津則	後藤 武夫
外川 守	橋本 健	中谷 勝昭	赤崎 清志
角 直俊	荒木 憲一	(有)わくわく畑ランド	園田 嘉一
園田 龍章	傳里 隆男	笠谷 栄司	加瀬 益藏
山田 幸雄	大坪 光	中村 徳夫	石川 昌仁
澤田 竹次	森木 研吾	野中 剛	村上 光生
長町 昇	堀田 一也	紙谷 敏彦	畠山 朋之
川崎 光博	西中 敏美	吉本 憲章	鈴木 弘行
遠藤 康夫	石井 征男	松田 直人	谷口 昇
有倉 喜彦	廣田 敏明	長谷 尚	高田日出男

(敬称略、順不同)

◆優良表彰



森山 東幸	辻 宏明	後藤 英一	池田 政博
山田喜久雄	上田 裕昭	中原 俊一	成沢 千秋
入場 昇	橋本 幸博	大京寺孝雄	本瀬 孝三
(有)東和農場	霜野 光則	中村 健一	川上 征男
山原 茂	川上 和幸	吉本 康男	右井 正一
廣田 敦彦	岡田 雅彦	八重樫大輔	鎌田 修一
樋沢 隆一	佐藤美頭雄	林 宏典	今出 勝美
川崎 竜一	吉本 憲	舟根 輝好	篠崎 春雄
いろはのごはん合同会社	広瀬 道雄	上村 健二	酒井 雅憲
久保 茂信	上西 昭広	岡野 一男	

(敬称略、順不同)

◆表彰基準

ア、優秀表彰～金シート

協議会取組数量に占めるタンパク値 6.8 %以下の「ゆめぴりか」出荷数量が全道平均値を上回る生産者および団体。

イ、優良表彰～えんじシート

協議会取組数量における「ゆめぴりか」基準内品の出荷数量が全道平均値を上回る生産者および団体。

※アに該当する生産者はイの表彰は行わない。

たいせつなここがポアント

7月15日現在における稲の生育は、連日の高温多照の影響もあり平年並みで推移しています。今後は登熟期に向けて大事な時期となりますので、水稻の生育状況に応じた適切な水管理と病害虫防除に努め、良品質米をつくりましょう。



◆仕上げの水管理と病害虫対策

登熟期間中に土壤水分が不足すると、登熟不良により青未熟・乳白・腹白米の増加など、収量や品質の低下を招きます。土壤状態に応じた水管理を徹底しましょう。

1 登熟期の水管理

《間断灌漑の実施》

出穂期以降は入水時の水深を4~5cmとし、その後水田内に水がなくなるまで入水せずに1~2日間落水状態で管理し再び入水します。このような管理を落水時期まで繰り返し行うことで、根の活力が維持されます。

《落水時期の目安》

落水は玄米形成がほぼ完了する出穂期後25日目頃の「穂かがみ期」以降に行うのが原則です。透水性不良で乾きにくいほ場では出穂期での落水も可能ですが、その場合は土壤乾燥状態を見て走り水管理ができるように溝切りが実施されている必要があります。

2 病害虫防除

《いもち病対策》

いもち病は糊熟期（出穂後20日）までに発生すると被害の可能性がありますので、よくほ場を観察して適正防除を行いましょう。特に復元田や過剰な生育のほ場、昨年いもち病が発生した水田などでは降雨があり蒸し暑い日が続くと発生しやすくなりますので、よくほ場を観察しましょう。



葉いもち病斑

◇カメムシ・成虫の発生時期と特徴

発生期	発生時期	特徴
第1回成虫	6月中~下旬	麦類やイネ科雑草に産卵する
第2回成虫	7月下旬~8月上旬	水稻の出穂期と発生盛期が一致する
第3回成虫	8月下旬~9月上旬	水稻の穂を加害する

3 生産履歴の記帳

トレーサビリティ法が施行され産地情報の伝達が義務付けられています。日頃からこまめに記帳し信頼性の高い生産履歴となるよう努め、消費者に対し正しい情報を伝達できるようにしましょう。



1 小麦

(1) 雜草処理は確実に行いましょう。

連作は場などでは特に雑草の発生が多く、病害・収量・刈取作業に大きな影響を与えますので、耕起前に必ず雑草処理を徹底して下さい。(表-1)

なお、周辺の作物に薬剤が飛散しないように十分注意しましょう。

表-1 耕起前の除草剤一覧

除草剤名	使用時期	10a 当り薬量	安全使用基準
ラウンドアップ マックスロード	耕起前まで (雑草生育期)	200ml ~ 500ml	3回
タッチダウン I Q (秋播き小麦のみ)	耕起3日以前 (雑草生育期)	500ml ~ 750ml	1回
クサトリキング	耕起前まで (草丈 30 cm以下)	250ml ~ 500ml	3回

※ 10a 当りの水量はすべて 100 ℥

(2) 秋播き小麦のは種作業について

秋播き小麦「きたほなみ」は、は種が早すぎると過繁茂になりやすく、遅すぎると穂数が少くなり減収の原因となります。適期は種・適正は種量を徹底し(表-2)、は種後には鎮圧して除草剤の土壤処理効果を高めましょう(表-3)。

また、丁寧な整地は出芽の揃いを良くし、秋の土壤処理除草剤の効果を高めます。時間に余裕を持って作業を行いましょう。

表-2 「きたほなみ」は種量

は種適期	9月 12 ~ 18 日
は種量	7 ~ 8 kg / 10 a
は種深度	低地土・台地土 1.5 ~ 2.5cm
	火山性土 2 ~ 3cm
基肥 (O82)	40 kg / 10 a

は種深度の違いによる秋の生育



深いは種深度 適正は種深度

表-3 除草剤 (土壤処理)

薬剤名	使用時期	10a 当り薬量	対象雑草	安全使用基準
ガレース乳剤	は種後出芽前 (雑草発生前)	200ml	一年生イネ科雑草 広葉雑草	1回
ガルシアフロアブル (秋播き小麦のみ)	は種後出芽前 (雑草発生前)	250ml	一年生雑草	1回

2 大豆

(1) 害虫防除について

今後の大豆の主要害虫である「マメシンクイガ」の防除を実施しましょう。莢伸長始め(およそ半数の株に2~3cmに達した莢がついた時期)から7日目頃が1回目の防除時期となり、その後10日後に2回目の防除となります。

1回目の防除薬剤は合ピレ剤とし、2回目は有機リン系剤を使用して下さい。

プレバソンフロアブル5につきましては、合ピレ剤と同様に1回目の使用として下さい。

◇「マメシンクイガ」防除薬剤

	薬剤系	薬剤名	希釈倍率	10a 当り薬量	使用時期
1回目 (莢伸長始めから7日目頃)	合ピレ剤	ゲットアウト WDG	3,000	33g	収穫 7 日前 / 3回
		トレボン乳剤	1,000	100ml	収穫 14 日前 / 2回
	ジアミド系	プレバソン フロアブル5	4,000	25ml	収穫 7 日前 / 2回
2回目 (1回目防除から10日後)	有機リン系	エルサン乳剤	1,000	100ml	収穫 7 日前 / 2回
		トクチオン乳剤	1,000	100ml	収穫 30 日前 / 3回

※ 10a 当りの水量はすべて 100 ℥

(2) 収穫の準備をしましょう。

収穫作業の効率化と品質向上のため雑草の抜き取りを行いましょう。また、わい化病株が見受けられる場合も汚粒などにより品質低下の原因となりますので、併せて抜き取りをお願い致します。

「田んぼアート」

田んぼをキャンバスに見立て、稲の葉色の違いを利用して絵を描く「田んぼアート 2017～夜行性の動物たち～」が見頃を迎えてます。

縦40m、横170mのキャンバスに北海道産米「ななつぼし」、「紫稻」、「黄稻」、「べにあそび」(赤)、「ゆきあそび」(白)、「あかねあそび」(橙)の6色の稲により色鮮やかに動物たちが描かれています。

6月9・10日に約300人の方々のご協力により植えられた稲は、6月の天候不順により生育は少し遅れましたが、7月に入ってからの高温、好天により順調に成長し、7月中旬からは見ごろを迎えることができ、見晴台から見るとエゾフクロウ・ユキヒヨウ・オオカミ・エゾシカ・レッサーパンダの絵がきれいに浮かび上がっています。

また、この時期になると新聞などのメディアにも取り上げられ、平日でも遠方から来られる方や家族連れのお客さんなどで大変賑わっています。

この「田んぼアート」は8月中旬頃までが見頃となっており、8月19日(土)には「第9回田んぼアートフェスティバル」を下記のスケジュール(予定)により開催致しますので是非ご家族皆さんでご来場ください。

第9回田んぼアートフェスティバル

開催日時 平成29年8月19日(土) 12:00開場 13:00開会(雨天決行)
開催場所 田んぼアート特設会場(旭川市東鷹栖7線18号)

スケジュール(予定)

司会:林ゆかり

- 12:00 テントフース開店(ラーメン、焼き鳥、ビール、子供縁日ほか)
- 13:00 鷹栖中学校吹奏楽部演奏会
- 13:30 巨大押し寿司アートに挑戦!、動物ふれあい体験コーナー
- 14:00 「プラウセルン&ファンキーディーヴァ」によるダンス
- 15:00 ○×クイズ大会
- 15:30 豊作祈願!もちまき
- 16:00 ステージイベント① アコースティックユニット“かのんぶ♪”
- 16:45 ステージイベント② シンガーソングライター“児玉梨奈”さん
- 17:30 ステージイベント③ 日本一の三味線演奏“菅野優斗”さん
- 18:15 よさこいソーラン踊り
- 18:50 山太鼓“行燈”
- 19:00 田んぼアートライトアップ
- 19:20 たいせつ大抽選会
- 20:00 花火大会

主 催: JAたいせつ田んぼアート実行委員会
事務局: JAたいせつ農業振興課(☎ 57-2357)



田んぼアート2017

7月8日（土）たいせつ農産物直売所田んぼアート支店オープン

今年も、たいせつ農産物直売所田んぼアート支店がオープンしました。農産物販売協議会会員が一生懸命育てた野菜や、お米ジェラート「愛すご飯」、「JAたいせつ玄米入緑茶」などの特産品を中心に販売し、今年から「北海道じゃがッキー」など北海道土産にオススメなお菓子3種類が入荷しました。

8日・9日の2日間でオープン記念として「ゆでとうきび」を本店・支店で同時販売しました。

また、本店限定で販売した「笹だんご」は、販売開始時間前から行列が出来るほど人気で、あっという間に売れてしまいました。

なお、田んぼアート支店は8月19日（土）までの営業予定で、営業時間は午前10時～午後3時までとなっております。田んぼアート見学の際は、ぜひお立ち寄りください！



7月13日（木）田んぼアートヒ工取り作業



JAたいせつ女性部では、田んぼアートのヒ工取り作業を女性部員17名の参加により行いました。30℃を超える暑さの中、午前8時から始め、去年よりも少ない人数でしたが、ヒ工が少なく30分程度で終了し、見頃の時期に備え、田んぼアートがより綺麗に見られるようになりました。猛暑の中、ご協力いただいた部員の皆様大変お疲れ様でした。

なお、2回目のヒ工取りを8月9日（水）に行います。

7月22日（土）田んぼの生き物調査

食育活動の一環として、青年部と旭川市PTA連合会主催による「田んぼの生き物調査」を開催しました。

当日は株式会社全農ビジネスサポートの山崎敏彦氏を講師にお招きし、約90名の親子が田んぼアート圃場に入り、田んぼに住む生き物たちを探し、普段見られない生き物達に子供達は目を輝かせていました。それぞれ捕った生き物を発表し、終わりには、「田んぼと生き物達は密接な関係があり、皆さんのがお米をたくさん食べる事により、生き物達も住むことができます。」と講演があり、参加者は熱心に話を聞いていました。



7月11日(火) たいせつ良質米生産研究会 観察研修開催



たいせつ良質米生産研究会会員 13名出席のもと、視察研修が行われました。

はじめに本所営農センター2階会議室にて、上川農業改良普及センターの小山主査と竹内普及職員から平成29年度水稻作況及び第三者認証GAPについてのご講義を頂きました。その後、鷹栖町北野地区の安田周司様の第三者認証GAP取得農場を視察させていただきました。安田様からはGAP取得に関してご説明を頂き、実際に取得された農場の納屋やハウスの見学を行いました。会員のみなさんからは積極的に質問や意見交換が行われ、生産工程管理の意識向上において大変有意義な研修となりました。

7月12日(水) JAたいせつ生産組織連絡協議会 観察研修開催

JAたいせつ生産組織連絡協議会による日帰り視察研修を役員8名と事務局2名の参加により開催しました。

研修先につきましては、岩見沢市にありますICT技術を活用した農業の大規模化、省力化に取り組んでいる「いわみざわ地域ICT農業利活用研究会」会長の(有)西谷内農場さんを訪問し、実際に使用されているICT機器搭載のトラクターや、水稻直播栽培をしている圃場や畑作の圃場を視察しました。

現在、岩見沢地区においても離農が進んでおり、1戸あたりの経営面積が20～24haとのことで、西谷内農場さんにおいては現在、ご夫婦2人で約50haもの水田を経営されており、ICT機器搭載の農業機械をフル活用して作業時間などの省力化を図り、水稻直播栽培とデントコーン、大豆、小豆、なたね、てん菜などの多数の畑作物を組合せて輪作をしています。研修参加者は熱心に聞き入っており、また多くの質問があがり、大変有意義な研修となりました。研修終了後は懇親会を開催し、役員同士の交流を深め、意見交換をしていました。参加者の皆さん大変お疲れ様でした。



7月18日(火) JAたいせつ・上川RT合同での労働安全衛生研修会開催



職員の労働災害や疾病防止の目的で設置している労働安全衛生委員会では毎年その目的にあわせた研修会を開催しています。

平成26年度より上川ライスター・ミナル(株)との合同開催を行っており、業務終了後に役職員78名、上川ライスター・ミナル社員13名が集まり、松原組合長(兼上川RT代表取締役社長)の挨拶に引き続き、北農健保組合保健指導課の秋田朋香保健師を講師に「職業性疾病と生活上の改善点」と題して講演が行われました。

職場環境に不備があったり、日頃の生活習慣が影響する健康障害の解説と、職場でできる腰痛や肩こり、目の疲れを解消するためのストレッチの実践で、参加者の中には日ごろの運動不足を実感した人も多かったと思います。

研修後、金融課貯金金融資係の芳賀さんと上川RT業務課の梅内君のフレッシュな音頭で参加者全員による安全宣言唱和を行い、これから農協も上川RTも繁忙期に向かうため労働災害等の防止に努めるよう山原専務からの挨拶があり閉会となりました。

J A グループ通信

J A グループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A 北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A 北海道中央会



6月11日に全道3会場（J Aさっぽろ、J A帯広かわにし、J Aしべちゃ）にて「みんなのよい食 J A親善大使」を開催しました。この取組みは、北海道コンサドーレ札幌の選手がJ A親善大使として、子どもたちと共に「よい食」とは何かを考え、食の大切さや地域の農業の役割を再認識してもらうものです。合計約200人の子どもが参加し、特に自分で調べて問題を考えた「北海道の食と農に関するクイズコーナー」は各会場大盛り上がり。農業への理解・関心を深めてもらうことができました。



J A 北海道信連

6月に、札幌駅前通地下歩行空間でJ AバンクのPRイベントを行いました。

当日は、「ドドーン貯 キャンペーン」のPRや若手女性農業者集団「Link's」の内山佳奈さんによるトークショー、「ちよりス」グッズの当たる「クイズ大会」等を実施しました。また、「ローン相談コーナー」の設置やSN

Sに「ちよりス」の写真を投稿した方へ記念品を配布する等、J Aバンクを広くPRできました。



ホクレン



ホクレンでは、今後の営農の参考にしていただくため、地域に応じたスマート農業技術の紹介に取り組んでおります。7月1日に開催した上川地区のフェアでは、圃場水管理、ハウス関連機器、アシストスース、センシング関連、ドローン、GPS自動操舵の6分野で新技術の紹介やセミナーを実施し大勢の生産者や関係者に来場いただきました。

今後も、スマート農業の普及に向けて情報発信に努めてまいります。

J A 共済連北海道

組合員・利用者の皆さまへ事業概要や支払規模、経営の健全性を紹介する資料として、平成28年度の事業概要をまとめたリーフレット「J A共済 安心めつせーじ」を発行しました。

「ひと・いえ・くるま」の主な保障の保有実績や共済金支払実績、経営状況や地域貢献活動への取組みなどをわかりやすく説明しています。今後も、皆さまに安心してご利用していただくため、情報を明確にお届けして参ります。



J A 北海道厚生連



この度、北海道厚生連はホームページをリニューアルいたしました。より快適にホームページを使つていただけよう情報を整理し、分かりやすく見やすいレイアウトにしました。またスマートフォンやタブレットからの閲覧もしやすくなっています。

今後もよりいつそう充実したホームページにしていきますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

7月3日	年金無料相談会～4日
7月7日	金融推進～7日
7月10日	企画会議
7月11日	J A 全国監査機構期中監査
7月14日	ライスセンター安全大会
7月18日	無人ヘリ操業安全大会
7月21日	職員労働安全衛生研修会
7月22日	第6回理事会・役員コンプライアンス研修会
7月31日	田んぼアート生き物調査
7月31日	本支所資材店舗・メカニックセンター中間棚卸



お盆営業のご案内

		8/10(木)	8/11(金)(山の日)	8/12(土)	8/13(日)	8/14(月)	8/15(火)	8/16(水)
東鷹栖セルフ給油所		平常営業 7:00～21:00 7:00～20:00	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業
鷹栖セルフ給油所								
貯金店舗	本所窓口	平常営業	休業	休業	休業	平常営業	平常営業	平常営業
	支所窓口							
A	本所							
T	支所	9:00～18:00	9:00～14:00	休業	休業	平常営業	平常営業	平常営業
M	鷹栖町役場							
本所・支所事務所		8:30～17:00	休業	休業	休業	休業	休業	休業
本所・支所営農センター								
メカニックセンター								
直売所	本店	平常営業 10:00～18:00 10:00～15:00	平常営業	平常営業	平常営業	休業	休業	平常営業
	田んぼアート支店							

※休日の交通事故(共済連リーグ)0120-258-931、ご不幸(東鷹栖地区)080-1882-3423 (鷹栖地区)080-2875-5827まで

鷹栖給油所からのお知らせ

鷹栖給油所にてかねてより進めておりました地下タンク更新工事に際しましては工事期間中、皆様に大変なご不便とご迷惑をおかけしておりましたが、この度、お陰様を持ちまして工事が完了し、来る8月8日(火)より通常営業を再開する運びとなりました。

つきましては、**8月8日(火)・9日(水)**の2日間にてご来店いただきましたお客様に、粗品をご用意しておりますのでお気軽にご来店下さいますようお願い申し上げます。

コイン精米機 お盆営業のご案内

日頃より当JAコイン精米機をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

標記について、お盆期間中の休業日が下記のとおりとなっていますのでお知らせ致します。

8月10日(木)～8月17日(木)

※本支所営農センター前設置コイン精米機

上川ライスターミナルから お盆営業のご案内

日頃より上川ライスターミナル精米工場をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

標記について、お盆期間中の営業が下記のとおりとなっていますのでお知らせ致します。

8月15日(火) 休業

8月16日(水)～通常営業

8月17日(木)～個人精米